

ICU での欧州の青年と日本人学生の交流

国際基督教大学 国際関係学科 内野杏子

10月13日に欧州青年団が国際基督教大学を訪問しました。これは、日本の外務省主催の欧州青年研修プログラムの一環として実施され、ICUの学生は、日本・EU・グローバル化などについて、彼らと議論をする機会に恵まれました。

欧州（オーストリア、アンドラ、ベルギー、フランス、フィンランド、ギリシャ、ドイツ、リトアニア、ポーランドなど）から訪れた30人の若者は、職業も（学生、ジャーナリスト、弁護士、外交官、翻訳者など）さまざまでした。

大学食堂での昼食の後、木村崇之客員教授による「現代日本の安全保障戦略と国際問題」の講演を聴きました。質疑応答の時間には、日本の平和憲法や東アジア共同体についての多くの質問が、欧州の若者から出されました。その後、政治、経済、文化という3つのグループに分かれて、「グローバル化と地域性はいかに調和できるか？」というテーマについて議論しました。グループで討論した後、それぞれの代表者が、要旨を報告しました。

訪問の最後には、欧州の若者たちはICUの日本舞踊サークルによる、さまざまな日本舞踊を楽しみました。